

リーダーのいいところ取りから リーダー像を作る

皆様方も仕事上で、それぞれの立場で自分としてあるべきリーダー像を求めて仕事に励んでおられると思います。

プロ野球侍ジャパン 稲葉監督は、現役時代の8人の監督から学んだことを取り入れ、自分のものにして侍ジャパンのリーダーとして行動しておられるそうです。参考にしてみてください。

8人の監督から学んだこと

- 1 野村監督……………**考える野球**(ID野球)
- 2 若松監督……………日頃から選手を**観察する**重要性
- 3 ヒルマン監督……………**1点をとって1点を守る**野球
- 4 梨田監督……………捕手目線の鋭い勝負勘、選手と**意思疎通**を図る姿
- 5 栗山監督……………**選手ファースト**の姿勢
- 6 星野監督……………選手の**気持ちを動かす**ことができる監督、「情熱」
- 7 原監督……………**勝つチーム作り**を目的とした選手選考
- 8 山本監督……………選手と**心中する覚悟**、**信頼関係**の重要さ

報道で侍ジャパンの選手集めの様子やこれまでの試合を観ていると、取り入れた内容を実践しているのが見えてきます。それが選手からの人望を集め、好成績を生んでいるのではないのでしょうか。

会社におけるリーダー像にも同じことが言えると思います。新人の時から現在まで様々な上司の下で働き、又 配下ではなかったけれど回りの部署の上司の姿等、多くのリーダー像をみてきたと思います。せっかく出会った機会、学んだことを思い起こして、リストアップして、それぞれの人のお手本になる部分を自分の中に取り入れてみる。

つまり、いろいろなリーダーの良いところを取り込んでいきながら、**自分流の理想のリーダー像を創り上げていく**ということに取り組んでみてはいかがでしょうか。

